

子ども議会

中学生の代表による

菊陽町子ども議会を開催しました

8月9日、菊陽町議会議場、菊陽中学校、武蔵ヶ丘中学校代表の生徒13人による「菊陽町子ども議会」を開催しました。
中学生議員は、菊陽町が自分たちの力によって良い場所になるために、教育・産業・環境・福祉・交通・危機管理などの分野について意見を述べ質問をしました。これに対して町長、教育長をはじめ町職員が答弁しました。

問 学務課 議事事務局 ☎(232)4918 ☎(232)4919



町の教育について

質問 教育に関する町の予算の使い方や改築などの計画についてどうにか決定されているのでしょうか。

答弁 予算の使い方については、本年度の教育費の主なものは、給料や賃金などの人件費、各校舎などの施設修理や建設費用、パソコンなどのリース費用、教科書以外の教材費用、電気代、水道代などの光熱水費用などに使っています。改築などの計画決定については、新校舎を建設する場合は地域住民、学校の先生や学識経験者による検討委員会などを設置し、専門の建築設計会社と一緒に計画を作成します。その後、町長から町議会へ提案し、議会の承認を得て事業を進めます。

産業について

質問 私たちの将来を考えれば、町全体の産業が活発になることはとても重要です。毎年、町の店舗や職場に協力していただき、職場体験をしています。そのときにあらためて地元ならではの良さに気づくこともあります。そこで、地元の店舗同士が協力してキャンペーンを行うような取り組みはできないでしょうか。

答弁 個人消費の喚起と町内小売・サービスの活性化を図り、町内消費の拡大につなげるよう、町・地元商工会・地元業者が一体となって取り組みが必要だと考えています。

これからも町商工会や関係団体などと知恵を出し合いながら、効果的な方策を探りたいと考えています。

エネルギー問題について

質問 東日本大震災を受け、エネルギーの利用には火力や原子力に頼る部分が大きく、エネルギーの生産方法の見直しは大きな問題だといえます。そこで、校舎の屋上に太陽光発電を設置するなど、菊陽町で発電を行っていくシステムはできないでしょうか。

答弁 新たな施設の建設や建物の改修を行う際には、いろんな省エネルギー対策が導入できないか、クリーンエネルギーの活用や廃棄物処理場での発電など、町が現に使用しているエネルギーをどのように活用していくかなどの検討も行っていきたいと考えています。

医療・福祉について

質問 菊陽町のホームページ上では菊池郡市医師会のホームページとリンクして、休日在宅当番医が分かるようになっていますが、町のどこにどんな病院や医院があり、何時から何時まで診察をしているかをまとめたものはありません。私たちを含めて多くの人が利用しやすいように菊陽町の医療施設をまとめたものは発行できないでしょうか。

答弁 町民の皆さんがいつでも利用

きたいと考えています。

公共施設について

質問 近くで遊ぶことのできる場所には公園があります。公園には遊具もなく、立て看板には「球技禁止」などと表記があるので、遊ぶということもできません。そこで、新しくボール遊びなどもできる公園を造ることはできないでしょうか。

答弁 菊陽町には、大小合わせて90を超える公園や広場があります。多くの公園にボール遊びを禁止する看板を設置しているのは、限られた広さの公園で安全を確保するためです。ボール遊びのできる公園には、(仮称)光の森多目的広場や杉並木公園スポーツ広場がありますのでそちらを利用していきたいと思えます。

交通について

質問 武蔵ヶ丘中学校の正門前の道は、朝は小学生が集団登校するため、歩道いっぱい歩き、時には車道に出てしまうこともあります。交通量も多いので大変危険だと思います。歩道を広げる、ガードレールを設置するなどの安全策を取ってはどうかでしょうか。

答弁 武蔵ヶ丘中学校前の道路沿いには住宅が密集し、電柱が連立しています。歩道を広げるには、土地の用地買収や電柱の移設をする必要があります。予算や期間も含め、非常に難しい課題です。現時点では車線分離標(ポール)で対応している状況ですが、ガードレールを含め、歩車道ブロックの設置や防護柵の設置など有効性や可能性を検討しています。

危機管理について

質問 東日本大震災は、東北地方をはじめ各地に大きな被害をもたらしました。菊陽町で起こりうる災害、二次災害にはどういったものが考えられるでしょうか。また、災害で危険と考えられる地域では、各家庭で

子ども議会参加生徒の感想

今回の子ども議会は、菊陽町で初の取り組みでした。みんな分からないことがたくさんありましたが、一生懸命取り組めたと思います。生きる力を育むために教育に力を入れていること、起こりうる災害やその対策もきちんとできているということが分かりました。菊陽町の議員さんたちは、町がより良いものになるためにこのような議会をされていることがこの子ども議会を通して分かりました。

今回の子ども議会は、私たちから直接意見を述べることでとても良い経験になりました。私たちの年からこのような場を設けていただき貴重な経験ができてとてもうれしく思います。今後も、この子ども議会が続けられ菊陽町の恒例の行事になっていけばいいと思います。

子ども議会を通して、菊陽町について詳しく知ることができ、町長さんや教育長さんから直接お答えいただいたことはとても貴重な体験になりました。学校での話し合いの方法について参考になることがたくさんあったので、取り入れていきたいと思いました。



▲菊陽中学校・武蔵ヶ丘中学校の生徒代表